<table>
<tr><td>授業科目(ナンバリング)</td><td colspan="3">社会福祉総合演習（介護）
(DB413)</td><td>担当教員</td><td colspan="3">大町いづみ・浦　秀美・久田　貴幸</td></tr>
<tr><td>展開方法</td><td>演習</td><td>単位数</td><td>1単位</td><td>開講年次・時期</td><td>4年・集中</td><td>必修・選択</td><td>選択</td></tr>
<tr><td colspan="7">授 業 の ね ら い</td><td>アクティブ・ラーニングの 類 型</td></tr>
<tr><td colspan="7">本演習では、介護福祉士の国家試験に向けて、介護福祉に関する専門的知識と技術について確認を行う。そのため、これまでの各自の学びの全体を確認し、国家試験合格に向けての実力の定着化を図るためのまとめの科目として位置付けられている。
本演習は、介護福祉士国家試験を受験する学生は必ず履修するものとする。そして、本演習を学ぶことで本学のディプロマポリシーでも示されている専門知識・技術を修得し、課題解決を図ることができるようになることもねらいとしたい。</td><td>①④⑪</td></tr>
<tr><td>ホスピタリティを構成する能力</td><td colspan="5">学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標</td><td>評価手段・方法</td><td>評価比率</td></tr>
<tr><td>専門力</td><td colspan="5">変動する私たちの生活と介護に関する国家試験問題に関する専門的知識・技術について確認を行い、不足点を抽出し再確認する。そして、抽出箇所について説明することができる。</td><td>課題レポート</td><td>50%</td></tr>
<tr><td>情報収集、
分析力</td><td colspan="5">介護福祉に関する国家試験の問題や課題の内容、社会福祉全般における傾向について情報収集を行い、分析する能力を身に付けることができる。</td><td>課題レポート</td><td>20%</td></tr>
<tr><td>コミュニケーション力</td><td colspan="5"></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>協働・課題解決力</td><td colspan="5">介護福祉に関する国家試験の問題や専門的知識、技術について、受講学生や教員と協力し課題抽出・課題解決に向けて動くことができる。</td><td>取り組み姿勢</td><td>20%</td></tr>
<tr><td>多様性理解力</td><td colspan="5">事例などを通して、それぞれの利用者の多様性について理解し、専門職の立場としてその多様性について理解を深めることができる。</td><td>課題レポート</td><td>10%</td></tr>
<tr><td colspan="6">出　　席</td><td colspan="2">受験要件</td></tr>
<tr><td colspan="6">合　　計</td><td colspan="2">100%</td></tr>
<tr><td colspan="8">評価基準及び評価手段・方法の補足説明</td></tr>
<tr><td colspan="8">・課題レポート：評価比率は80%である。介護福祉に関する専門的知識・技術について、受講者自身の不足点や課題を明確し、レポートとしてまとめたもので評価する。また、課題レポートは個人作成のものと受講者のペアもしくはグループで作成するものもある。誤字や脱字、未提出や提出遅れは減点の対象とする。
・取り組み姿勢：評価比率は20%である。本演習に臨むにあたっての予習・復習状況や演習時の個別ワークやペアワーク、グループワークでの積極性等で総合的に評価する。
・課題レポートはレポートにコメントを付したものの返却や演習時にコメントする等の形にてフィードバックする。</td></tr>
<tr><td colspan="8">授　業　の　概　要</td></tr>
<tr><td colspan="8">これまで学んできた介護福祉に関する科目を総合的に復習しながら、随時確認し、介護福祉士として求められる専門的知識・技術への理解を深めていく。全国的な模擬試験にも取り組み、ディスカッションやグループワーク、ペアワークも行いながら得意分野・不得意分野の理解、不得意分野の克服に努める。課題についてはポートフォリオ等ICTを活用してフィードバックし共有する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</td></tr>
<tr><td colspan="8">教　科　書　・　参　考　書</td></tr>
<tr><td colspan="8">教科書：介護福祉士養成課程で使用した全てのテキスト
参考書：随時紹介する
指定図書：介護福祉士養成課程で使用した全てのテキスト</td></tr>
<tr><td colspan="8">授業外における学修及び学生に期待すること</td></tr>
<tr><td colspan="8">介護福祉士国家試験を受験する学生は必ず本演習を受講してください。
1年生から4年生にわたって学修をしていることから、忘れている項目も少なからずあります。本演習を受講することはもちろん、自宅での自主学修や学修室での自主学修に力を注ぎ、受講者と協力もしながら、自分自身での主体的な学修を継続するようにしてください。</td></tr>
</table>

回	テ　ー　マ	授　業　の　内　容	予習・復習
1	オリエンテーション	演習の目的・概要・スケジュールについて確認する	予習：シラバス確認
2	発達と老化の理解	人間の成長と発達、老年期の発達、成熟・老化に伴うこころとからだの変化について学ぶ	予習：出題項目確認 復習：発達と老化の理解模擬問題解答
3	認知症の理解	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎、こころとからだの変化、協働連携、家族支援について学ぶ	予習：出題項目確認 復習：認知症の理解模擬問題解答
4	障害の理解	障害の基礎的理解、医学的側面の理解、協働連携、家族支援について学ぶ	予習：出題項目確認 復習：障害の理解模擬問題解答
5	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引、経管栄養、高齢者と健康について学ぶ	予習：出題項目確認 復習：医療的ケア模擬問題解答
6	人間関係とコミュニケーション コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーションの基本や、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、チームでのコミュニケーションについて学ぶ	予習：出題項目確認 復習：コミュニケーション技術模擬問題解答
7	知識の総まとめ	過去２回の模擬試験を用い学修のまとめを行う	復習：模擬試験の自己採点 調べ学修
8	知識の総まとめ	過去２回の模擬試験結果から自己の課題を明確にし、今後の学習を組み立てる	復習：自己の理解度の再確認
9	こころとからだのしくみ	人間の尊厳と自立において、介護における尊厳の保持や自立支援について学ぶ	予習：出題項目確認 復習：人間の尊厳と自立模擬問題解答
10	人間の尊厳と自立	こころのしくみ・からだのしくみの理解、ADL 場面におけるこころとからだのしくみについて学ぶ	予習：出題項目確認 復習：こころとからだのしくみ模擬問題解答
11	社会の理解	生活と福祉、社会保障制度、介護保険制度、障害者自立支援制度、介護実践に関連する諸制度について学ぶ	予習：出題項目確認 復習：社会の理解模擬問題解答
12	生活支援技術	生活支援、自律に向けた居住環境の整備・身じたく・移動・食事・入浴清潔保持・排泄・家事・睡眠・終末期の介護について学ぶ	予習：出題項目確認 復習：生活支援技術模擬問題解答
13	介護過程	介護過程の意義・展開・実践的展開・チームアプローチについて学ぶ	予習：出題項目確認 復習：介護過程模擬問題解答
14	介護の基本	介護福祉士を取り巻く状況や介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ、尊厳を支える介護、自立に向けた介護、介護を必要とする人の理解、介護サービス、介護実践における連携、介護従事者の倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護従事者の安全について学ぶ	予習：出題項目確認 復習：介護の基本模擬問題解答
15	総合問題	4 領域（人間と社会、介護、こころとからだのしくみ、医療的ケア）の知識・技術について横断的に学ぶ	復習：総合問題（事例）の振り返り